

殺虫剤

MEPマイクロカプセル剤

スミパイン®MC

有効成分：MEP（PRTR・1種）……………23.5%

農林水産省登録 第19147号

性状：淡黄色粘稠液体

毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

有効年限：2年

包装：12ℓ×1

スミパイン®は、住友化学㈱の登録商標です。

特長

- 残効性に優れるため、『マツノマダラカミキリ成虫発生初期』の1回散布で有効です。
- 耐雨性に優れ、散布・乾燥後の降雨による影響が少ないです。
- 有効成分のMEPが薄い膜に内包されているため、臭気が低いです。
- 散布粒子の区域外への飛散が少ないために環境に対する安全性が高いです。
- 自動車等の塗装汚染を軽減した製剤です(塗装面に付着後1日以内に洗浄すれば汚染防止が可能)。
- 消防法上の規制対象に相当しません。

適用病害虫名および使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	MEPを含む農業の総使用回数
まつ(生立木)	マツノマダラカミキリ成虫	5倍	6ℓ/10a	成虫発生初期	3回以内	空中散布	6回以内
		2.5倍	3ℓ/10a				
		15倍	18ℓ/10a				
		20倍	24ℓ/10a				
		50倍	3ℓ/本 (樹高10m)			散布	
2.5~5倍	3ℓ/10a	無人ヘリコプターによる散布					
ヤシ類	ヤシオオオサゾウムシ成虫	50倍	5ℓ/本 (葉柄基部直径1m)		6回以内	樹頂部に散布	

殺虫特性

●効果の発現

マイクロカプセル化製剤が対象害虫に対して効力を発現するためには、膜に内包されているMEPが膜外に放出されることが必要です。本剤は太陽光(紫外線)により膜が劣化崩壊してMEPを膜外に放出します。また、マツノマダラカミキリ成虫の歩行、後食によっても膜が破壊されて放出されます。

●残効性

有効成分のMEPが膜物質によって外部環境から保護されているために、分解が抑制されて、残効期間が伸び、年1回の散布でもマツノマダラカミキリ成虫の後食を約2ヶ月間抑制します。膜は太陽光線下で7~10日間で徐々に崩壊します。放出されたMEPは環境条件によりスミパイン乳剤と同様に分解されます。

散布粒子の飛散距離

空中散布により散布された本剤の散布粒子は、極端な微細粒子にはなりません。散布粒子の粒径は従来の約1.6倍の大きさとなるため、散布粒子はすみやかに松枝、地上に落下します。このため風などによる飛散距離が縮小され、散布区域外への飛散が減少します。

自動車塗装汚染の減少

●発生要因

自動車塗装に対する影響は、有効成分の MEP が塗装表面と接触・反応することで発生し、太陽光の照射により助長されると考えられます。

●軽減機構

本剤は有効成分の MEP が高分子の膜内に封じ込められているため、塗装表面と MEP との接触が防止されています。高分子の膜（カプセル）が光で崩壊するまでは塗装の汚染は生じません。太陽光の照射により膜内の MEP が褐色に変色しますが、膜の崩壊が始まる前に水洗してカプセル粒子を塗装から取り除けば、塗装汚染はほとんど残りません。

●洗車方法

本剤が付着した自動車などの塗装面をそのまま放置するとカプセル膜が太陽光などで崩壊し、塗装汚染が生じます。本剤が付着したと予想される場合は付着後できるだけ速やかに洗剤を用いて水洗いしてください。

使用上の注意事項

●本剤を空中散布または無人ヘリコプターに散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。

- ・散布は各散布機種種の散布基準に従って実施してください。
- ・無人ヘリコプターによる散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
- ・散布中薬液が漏れないように、機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
- ・特定の農薬（混用可能が確認されているもの）を除いて原則として他の農薬との混用は行わないでください。
- ・散布終了後は次の事項を守ってください。

○使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄してください。

○機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理してください。

●本剤によるマツノダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするものであり、成虫発生初期に時期を失しないように散布してください。

●マツノダラカミキリ成虫に対する50倍液の地上散布の単木処理をする場合、散布液量は、樹高10mの松1本当たり3ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹冠部を中心に全面に散布してください。

●ヤシオオオサザウムシ成虫に対する50倍液の地上散布を単木処理をする場合、散布液量は、目安として幹先端の葉柄基部直径1mに対して5ℓを標準とし、木の大きさにより適宜増減し、樹頂部に散布してください。ただし、10a当たりの使用液量は100ℓをこえないでください。

●ひのきに対しては個体によって落葉、枯損にいたるおそれがあるので、付近にある場合にはかかからないように注意して散布してください。

●本剤を広範囲に使用する場合は、散布薬液の飛散によって他の動植物（特にあぶらな科作物、桑、さといも、ソルゴ等の農作物、養蚕、養蜂）に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかかからないようにしてください。

●ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。養蜂が行われている地区では都道府県の畜産部局と連絡し、ミツバチの危害防止に努めてください。

●本剤は自動車、壁およびカーポートなどの塗装面、大理石、御影石に散布液がかかると変色する恐れがあるので、散布液がかかからないよう注意してください。

●水源池、飲料用水、養殖池等に本剤が飛散・流入しないように十分注意してください。

●使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。

安全使用上の注意事項

●本剤の解毒剤としては硫酸アトロピン製剤及びPAM製剤の投与が有効であると報告されています。

●散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。

●作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

●かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意してください。

●街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

治療法…硫酸アトロピン製剤またはPAM製剤の投与が有効。

魚毒性…水産動物、特に甲殻類に影響を及ぼす恐れがあるので、十分注意して散布する。

保管…密閉し、直射日光を避け、食品と区別して、涼涼な所。